

サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）の設定 および2030年度目標について

株式会社三井E&Sホールディングス（代表取締役社長：高橋 岳之）は、当社のサステナビリティ重要課題（マテリアリティ）として「脱炭素社会の実現」、「人口縮小社会の課題解決」の2点を設定しました。さらに、具体的な取り組みおよび2030年度の目標値を定めましたのでお知らせいたします。

当社は、より環境に優しいLNG（液化天然ガス）や、次世代燃料であるアンモニアや水素を動力源とした船舶用ディーゼルエンジンの製造・開発を行っています。また、将来の排出ガスゼロに対応可能なコンテナ用ヤードクレーン（ニア・ゼロ・エミッション トランステーナ®）の販売やディーゼルエンジンを水素燃料電池（FC）電源装置へ換装したゼロ・エミッション（排出ガスゼロ） トランステーナ®の開発、さらにデジタル技術・サービス開発・普及など、事業活動を通じた社会課題の解決に取り組んでおります。

今回、具体的な重要課題や2030年度目標値を設定することで、地球温暖化防止や人口縮小社会の社会課題解決に向けた活動をさらに加速させます。

今後も、当社は、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

マテリアリティ	取り組み	2030年度目標
脱炭素社会の実現	・環境負荷低減を実現した、グリーン燃料焚き船舶用エンジン、ニア・ゼロ/ゼロ・エミッション トランステーナ®の開発・販売	・CO ₂ 削減貢献量 550万t-CO ₂ /年（▲66% *1）
	・グループ会社の生産活動におけるCO ₂ 排出量削減	・生産活動によるCO ₂ 排出量*1 4.5万t-CO ₂ /年（▲17% *2）
人口縮小社会の課題解決	・省力化と経済合理性を備えた効率的、効果的なサービス開発・普及	・トランステーナ®年間売上高比 自動化製品率40%

*1 2019年度比 *2 対象：機械事業におけるScope1及び2

[本件に関するお問合せ先]

株式会社三井E&Sホールディングス 経営企画部 広報室

電話：03-3544-3147